

# 雑草イネ(赤米)を根絶しましょう！！

松本農業改良普及センター

## 田植え～6月までの雑草イネ(赤米) 対策



近年県下の水田では「雑草イネ」が増加し、中信地区でも増加傾向です。玄米が「赤～赤褐色」なので「赤米」とも呼ばれています。

雑草イネが出荷物に混入すると、検査上「銘柄」が付けられず、「その他うるち」米となったり、等級落ちの要因になり所得の減少につながるため、地域として撲滅に向けた取り組みが必要となっています。

### 1 雑草イネに有効な除草剤を使って、雑草イネを減らしましょう。

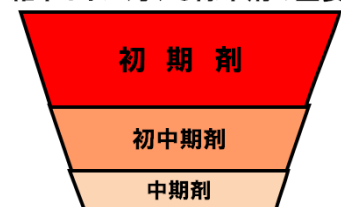
#### ① 除草剤を使う上で知っておきたいこと

- 除草剤は出芽前の雑草イネに対して効果が高く、出芽した雑草イネには効果はありません。
- 雑草イネは入水・代かきで出芽できる状態になり、約1ヶ月間にわたりだらだら発生するので、除草剤を一回使用しただけでは減りません。

#### ② 除草剤の上手な使い方

- 初期剤→初中期剤→中期剤の体系防除をしましょう。JAでは「雑草イネ対策の推奨除草体系」を用意しています。
- 体系防除の間隔は7～10日にして、間隔をあけすぎないようにしましょう。
- 初期剤をピシッと効かせるのがポイントです。除草剤の効果を高めるために、畦塗りや水口・水尻の整備等をして、水持ちをよくしましょう。

雑草イネに対する除草剤の重要度



初期剤が最も重要です。ここで失敗すると発生は全く減りません

### 2 その他のポイント

- 雑草イネ発生圃場の作業は、一番最後にまわしましょう（拡散防止のため）。
- 畝間や株間に生えている「こぼれ苗」は、雑草イネかもしれません。6月中に抜き取りましょう。

畦間がこのような状態になっていませんか？



ご不明な点はJA・農業改良普及センターまでご相談ください。